

事務事業名		大船渡市学校保健会運営支援事業				☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間	
	施策名	15 学校教育の充実					
	基本事業名	04 たくましく健やかな体の育成				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S42 年度～) ☐ 期間限定複数年度【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		大船渡市学校保健会会則				予算科目	
所属	部課名	教育委員会事務局 学校教育課				会計	
	課長名	佐藤 真				款	
	係名	学務係	電話	0192-27-3111		項	
	担当者	葉澤 芳行	内線	292		目	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		大船渡市では、学校保健・給食分野で最前線に位置づけられる大船渡市学校保健会の運営を支援するため、補助金を交付し、学校保健・給食の普及促進を図っている。 市としての主な業務は、大船渡市学校保健会補助金交付申請書の審査及び補助金の支払い、事業実績報告書の審査である。 大船渡市学校保健会における主な事業は、補助金交付申請書の作成、総会・講演会の開催、学校医部会・養護教諭部会・給食部会による事業運営及びその補助等である。 平成23年度より、大船渡市学校保健会事務局を、学校教育課から盛小学校へ移管した。以降小学校において、2年毎の輪番により事務局を担当する。 ※ 大船渡市学校保健会とは・・・学校長及び教職員、PTA、学校医などで組織される学校保健における各種事業を展開する団体				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

大船渡市学校保健会からの補助金交付申請書の受領・審査及び補助金支払い、事業実績報告書の受領・審査

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

前年度事業と同様。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

学校保健衛生向上に役立ててもらう。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

健康でたくましく成長する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 市立小中学校数	校
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 市立小中学校児童生徒数	人
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 大船渡市学校保健会会員加入率	%
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円	163	123	129	170	147	166
		事業費計 (A)	千 円	163	123	129	170	147	166
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	5	5	5	5	5	5
		人件費計 (B)	千 円	20	20	20	20	20	20
トータルコスト(A)+(B)		千 円	183	143	149	190	167	186	
⑤活動指標	ア	校	20	20	19	19	19	16	
	イ								
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	2,571	2,487	2,386	2,313	2,263	2,188	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0958	事務事業名	大船渡市学校保健会運営支援事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和42年4月に当市における学校保健・給食の改善、向上を図ることを目的として「大船渡市学校保健会」が発足し、その当時から大船渡市では運営補助金を交付している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

市立小中学校児童生徒数が減少している。

平成23年度に、大船渡市学校保健会事務局を学校教育課から盛小学校へ移管。以降小学校において、2年毎の輪番により事務局を担当する。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 運営支援することにより、学校保健の普及促進の一助となっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 児童生徒の命に直結する学校保健・給食の普及促進を図ることは、児童生徒の育成に必要不可欠である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図ともに大船渡市学校保健会会員(市立小中学校児童生徒)全員としており、限定追加する必要がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 市内学校保健関係者で組織されており、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 大船渡市学校保健会における事業活動ができなくなり、学校保健・給食の環境悪化に繋がる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 学校保健及び学校給食の普及促進のために恒久的に実施するものであり、削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 既に小学校へ事務局を移管し、これ以上の削減は見込めない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 保護者からも分担金を徴しており、全市的に公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	本事業については適正に進められており、今後も現状維持で進めていく。